

手をつなぐ

題字 藤本利夫書

〈1988年7月9日創刊〉
 発行 2014年5月1日 〈毎月1日発行〉
滋賀県民主教育研究所
 〒520-0052 大津市朝日が丘1丁目
 11-3 教育文化会館2F
 TEL & FAX 077-525-5364
 教育110番 077-523-3715
 e-メール shiga.minken@gmail.com
 HP: http://shiga-minken.jimdo.com/
 振替口座番号(会費振込にご利用ください)
 ①ゆうちょ銀行/記号番号 01070-5-40576
 ②滋賀銀行本店営業部/普通口座 511256
 加入者(口座)名 滋賀県民主教育研究所

私と学問と社会

村方翼



学びや実践の場所は 学校だけではない

今年で、私は30歳になる。節目の年に書く機会をいただいたので、私のこれまでの経験や学び、考えから、社会での学びについて書いてみたいと思う。

私を振り返って

義務教育の間、私は遊んでばかりで、分教やアルファベットなどが分からないほど全く勉強ができなかった。学問についての意識は眠り眼のように、まだしっかりと見開いていなかった。幸いなことに、それでも学問に対するアレルギーを発症しなかった。しかし、教育制度やテストに違和感を覚えた。今でも、当時の居残りやテストの悪夢を見るくらいである。今振り返れば、当時の私は先生や大人ではとても手に負えない子どもだったかもしれない。しかし、高校生の時に、尊敬する数学の先生が放課後の学習会で数学の基本から丁寧に教えてくださったのがきっかけで、「読み・書き・算」の基本をしっかりとし身につけることができた。他の人より発達が遅かったかもしれないが、今ではそれなりに学や能力を身につけることができたとと思う。

私が受けた学校教育やその後の社会生活を振り返ってみると、当たり前かもしれないが、学びや実践の場所は学校や会社だけではなく、学校の授業ではなくほとんど本で独学した。本の読み方や文書の書き方、考え方、コミュニケーションなどの技術や方法は大学卒業後に改めて(初めて)学んだ。また、すばらしい本や人から、この世にはいろいろな思想や価値観、人間観などがあることを学んだ。学校教育ではそれらを教わらなかったと思う。

社会的活動の活用

さて、私は学や能力を身につけるにあたっては、知識の活用や実践は学校や会社だけでなく、社会的活動(社会的企業)でも行った。社会的活動は教育的なことを含んでいるので、とにかくやってみるにはもってこいである。今日では、NPOなどの社会的・組織的な活動が増えてきている。今現在、能力や経験、会社で働く自信がなくなると、社会的活動で能力を身につけ、

経験を積み、自信を増やして、働く準備をすることはできると思う。その後、営利企業に進む道もあると思う。

今日では、学問はいつでも、どこでもできる。また、学問を始めるための準備はいい。本はどこでも買えるし、最新の情報はインターネットで調べることができる。あとは、自分が学び始められる状態になるのだが、これだけは人それぞれ発達が違うため、早い人もいれば、遅い人もいる。学問や社会的活動を通じて、人や社会が少しでもより良くなることを切に願う。

(むらかた つばさ)

滋賀県研理事)



《 今月の紙面 》

- ・私と学問と社会/村方翼 1p
- ・地域の自然に思いを馳せる/ 角田 純一郎 (近江八幡市立 八幡小学校・北之庄沢を守る会理事) 2・3p
- ・研究集会記念講演「子どもたちの豊かな学びを保障する教育へーカリキュラム作成における二つの視点(後編)」..... 4・5p
- ・「仏弘相念」ー9条の根底にあるものー / 對月慈照(「真宗大谷派9条の会長浜」事務局長) 6・7p
- ・ヤンゴンの変化...その後のミャンマー / 岡見 要 8p